

裏と表

作・演出 ゼロコ



本作は、パフォーマーの「舞台上（表）」と「舞台裏（裏）」という二つの顔を行き来しながら描く、ユーモアに満ちた作品です。観客の前では輝く彼らも、ひとたび舞台裏に戻れば、焦りや葛藤、思わぬミスに揺れ動き、ときに本音をこぼします。照明の切り替えによって〈表〉と〈裏〉がダイナミックに交差し、観る者をその境界へと引き込みます。誰もが持つ“見える顔”と“本当の顔”そのあいだにある人間らしさを、軽やかなユーモアで映し出します。笑いと共感が交差する、遊び心に満ちた視覚的な舞台体験を、ぜひご堪能ください。

【プロフィール】

角谷将視と濱口啓介によるフィジカルコメディデュオ。日常を多角的に捉え、パントマイムや、道化師の手法であるクラウニングをベースに、緻密さと即興性を持ち合わせた老若男女・国籍を問わない遊び心あるパフォーマンスを発表している。2019年に世界最大の芸術祭とされているエディンバラ・フェスティバル・フリンジにて舞台『Zeroko'sTeatime』がAsianArtsAwardのBestComedy賞を受賞



ゼロコ公式HP

お問い合わせ zeroko.contact@gmail.com